

# 生涯学習だより



## 実心～「実りが育む【あき】……実りに感謝」

～かみしほろの健やかな育ち～

年間テーマ 「ささえあいの地域づくり」

## 第22回生涯学習ラリー

十月十二日（土）、上士幌町生涯学習フェスティバル実行委員会（山田 忠雄委員長）が主催団体となり、第二十二回生涯学習ラリーが開催されました。生涯学習ラリーとは、町内の小学生及び中学生を対象とした事業で、概要は左記のとおりです。

◆午前十時から午後三時まで、生涯学習センターの全館を会場に行いました。

◆体験コーナーは、三十分間を一単位として、それぞれのコーナーで体験し終わるとポイントがもらえます。そのポイントをたくさん集めて各賞の景品と交換できるというシステムになっています。今年は、二十四の体験コーナーがありました。

◆優秀賞八ポイント、博士賞十三ポイント、ノーベル賞十八ポイントと設定し、優秀賞三〇名、博士賞五十一名、ノーベル賞二十四名となり、子どもたちは大活躍でした（参加者総数一五三名）。

◆体験コーナーの指導者は、全て地域の方々（企業・団体・個人）です。

◆子どもたちは、自分が体験したいコーナーや集めるポイントの計算を含めて、全て自分の力で時間割を考えて、その時間割に沿って各体験コーナーを回ります。

### ～それぞれの体験コーナー～

今年度も多くのおみなさんからたくさんのご協力をいただき、24の体験コーナーを子どもたちに提供することができました。それぞれの体験コーナーについては下記のとおりです。

- |                       |                     |                  |
|-----------------------|---------------------|------------------|
| 1. 生き物研究室             | 10. スライムづくり         | 19. 社会科ひろば       |
| 2. レスキュー体験コーナー        | 11. 英語で遊ぼう！         | 20. エコクッキング      |
| 3. 体力測定にチャレンジ！        | 12. 理科ひろば           | 21. アニメ上映会       |
| 4. 消しゴムDe落款印づくり       | 13. ブーメランづくり        | 22. 子ども防災塾       |
| 5. でんげん展(模型づくり)       | 14. ビーズ教室           | 23. サイエンスショー     |
| 6. 6連射ゴム鉄砲づくり         | 15. おりがみ体験          | 24. 熱気球の仕組みを知ろう！ |
| 7. かみしほろ研究室(石器で肉を切ろう) | 16. 手芸体験(フェルトコースター) |                  |
| 8. むかし遊び体験            | 17. 絵本読み聞かせ         |                  |
| 9. 絵手紙づくり             | 18. 文化体験(将棋)        |                  |



スライムづくり



6連射ゴム鉄砲づくり



でんげん展



エコクッキング

# みんなで育てよう 地域の子どもたち～体・知・食～

第22回生涯学習ラリーにご協力をいただいた企業・団体・個人のみなさんのなかから、今回は、「体力測定にチャレンジ」のスポーツ推進委員のみなさん、「ブーメランづくり」の上士幌保育所の先生たち、「にこにこ喫茶」を出店した、すまいる・はあとのみなさんをご紹介しますと思います。

☆スポーツ推進委員 とは☆  
町内のスポーツ活動の推進、指導などを行っています。



体力測定に挑む子どもと齋藤さん

「体力測定にチャレンジ」では、スポーツ推進委員の大西文雄さん、坂井良仁さん、齋藤美恵子さん、長屋信代さんにお手伝いいただきました。

種目は握力測定、長座体前屈、立ち幅とび、反復横とびの4種目で、北海道の平均記録を越えた種目に○をつけ、2つ以上あるとポーンポイントが追加されるというものです。

子どもたちのほとんどがポーンポイントをもらい、なかには4つとも全道平均をこえた子どももいました。特にスポーツ少年団に入っている子どもが高得点をあげていました。

今回初めて体力測定コーナーを設けましたが、自分の体力がどのくらいか知ることができ、また日々のスポーツの励みにもなるので、毎年続けた方がいいと感想を頂きました。

(田中)

## 「大いに学び、大いに遊ぶ」



ブーメランづくりの様子

「ブーメランづくり」では、上士幌保育所の鎌田先生、四戸先生にお手伝いいただきました。

羽根の一枚一枚を好きな色で塗り、ハサミで切り取っていくという簡単な工程ですが、子どもたちは創意工夫を凝らしてそれぞれのブーメランを作っていました。

保育士のお二人は、子どもたちの間をまわりながらアドバイスをしたり、手を貸したりしており、歓声や笑い声の絶えない楽しいコーナーでした。

お昼休みや空き時間には、ふれあい公園で作ったブーメランを使って遊ぶ姿も見られました。

## 「ブーメランづくり」

☆すまいる・はあと とは☆  
発達障がいのある子の親たちが「子どもが思いっきり遊ぶ場がほしい」「子どもと一緒に成長したい」と考え立ち上げたサークルです。障がいの有無に関わらず、子どもの居場所と遊びの場を作り、親同士の繋がりがほしいという方の入会も募集しています。活動の中心は“遊び”で、月に1回の活動日は、主にふれあいプラザで活動しています。



にこにこ喫茶の様子

「すまいる・はあと」に「にこにこ喫茶も大賑わい」

今年の「にこにこ喫茶」コーナーは、すまいる・はあと”のメンバーから5人のお母さんと3人の子どもたちが、おいしいポップコーンとジュースの販売をしてくださいました。

“すまいる・はあと”として今回のような活動をするのは初めてとのことでしたが、「困ったことは何でも話し合える仲」という持ち前のチームワークと、一人ひとりの元気な「お母さんパワー」で生涯学習ラリーの会場が一層に華やかになりました。

店員さんが顔なじみのお母さんたちで立ち寄りやすかったこともあり、大賑わいの喫茶コーナーになりました。

(春口)

上士幌中学校吹奏楽部

「スイブ」という言葉をご存じでしょうか？以前は「ブラバン」と言われることが多かった吹奏楽は、現在「スイブ」と、スマートに？そう呼ばれることが増えてきました。

わが上士幌中学校の「スイブ」は現在、男子3名・女子19名の計22名で活動しています。主な活動は、文化祭等の学校行事での発表やコンクールへの出場、演奏依頼などです。最近では町内のお祭りに声をかけてもらう機会が増えました。「バルーンフェスティバル」「ひふみ祭り」「子ども夏まつり」「商工生涯学習まつり」などです。見栄を張って「毎回新曲を発表するぞー(笑)」と意気込むのですが、日にちが近すぎて「練習が追いつかない」という嬉しい悲鳴をあげているところです。

そんな上士幌中学校「スイブ」の歴史ですが、校内にあった1963年の古いアルバムを見ると約20名の部員を数えることができます。その後多少の人数の増減等を繰り返しながら、中学校の歴史とともに活動を続けてきました。その間、高校でも吹奏楽を続ける人、高校で学生指揮をする人、プロになった人もいます。吹奏楽の活動を通して、生涯音楽を楽しむことのできる人になってくれればと願っています。



かみっ子ふること体感塾 産業体験&調理体験



10月5日・6日に、かみっ子ふるさと体感塾の第3回目の活動となる「産業体験&家族調理体験・試食会」が行なわれました。町内小学生が26人、保護者や家族の方々30人が参加しました。

1日目は、生涯学習センターにおいて上士幌町給食センターの山角栄養士より、「ここだけの長ねぎのハナシ」と題して、長ねぎに含まれる栄養素や特徴についての講話がありました。子どもたちは小学校で習うことのない栄養素のことについてもしっかりと覚えることができました。

次に町内の高橋農場に移動し、農家さんの日常の仕事や作物に対する思いを聞いた後、実際に畑からねぎを収穫しました。

2日目には上士幌中学校で保護者の方々と一緒に、自分たちで収穫したねぎを使ってカレーパンを調理しました。

また昼食時には、今までの活動のスライドを觀賞し、保護者の方々も、普段見られないような子どもの表情におおいに盛り上がっていました。

お知らせ

スポーツセンターの耐震工事を実施しています

上士幌町スポーツセンターは、10月1日から平成26年3月末まで、耐震補強工事のため閉館しています。

その間、スポーツ団体は、各小中学校や山村開発センター、屋内ゲートボール場などの施設で活動していただきます。

スポーツセンターを利用されている皆さまには、大変ご不便をおかけしていますが、ご協力よろしくお願ひします。

来年春のリニューアルオープンをお楽しみに！



▲山村開発センターでのフロアカーリング

# 私流の生涯学習

## ペーパークラフトで楽しい時間を

浜名カオリさん（1区）



ペーパークラフトとの出会いは、上土幌図書館で、ペーパークラフトの本を手にした時から始まりです。姉の婚礼の時、ウエルカムボードの作品を必死で作成しました。そのときのブライダルプランナーに感動を与えたことがきっかけで、色々な作品に挑戦するようになりました。細長く切ったカラーペーパーを、クイリングバーという道具を使い、くるくる巻いてパーツをつくり組み合わせます。歴史的には古く、15世紀ごろヨーロッパの修道院で宗教道具を飾るためにつくられたと言われています。十勝では、まだ珍しい分野で少数の方しか作っていないようです。

独学でスタートし、三年目を迎えます。道新文化センターの講師や出前講座にも挑戦しています。作業は本当に簡単で、誰でも気軽に作る事ができ、二時間程度で完成するものもあります。町内では、11月3日の町民文化祭で体験教室を初めて開催しました。小学生が「花」に挑戦し、見事な作品が出来上がりました。ペーパークラフトの魅力は、立体的な作品に仕上げることで不思議な世界が見えてくることです。あなたも是非、心に残る作品に取り組んでみませんか。これから多くのクラフトの輪が広がることを楽しみにしています。（根本）

※様々な作品を拝見させて頂いたとき、何かメルヘンの世界を感じました。

## 健康の秘訣

佐藤 健治さん（4区）



退職してから健康づくりのために、自然の豊かさをほこる冬のスポーツ・歩くスキーをしてみないかと前会長よりさわられました。航空公園に常設コースを作り、冬期間約四ヶ月ですが、会員の方々が元気に過ごす姿に喜びを感じています。以前は、三股に十六キロメートルの歩くスキーのコースがあり、大勢の人で賑わっていました。手や足を動かし体全体を使って滑走する歩くスキーは、健康第一でなければなりません。コースは出発点からのぼりがあり、森林の中を頂上にむかって汗を流し、やっとの思いで到着。コースの西側から北に向かって大雪山の山々と三国峠が美しく輝きそびえたと見えます。帰りには幌加温泉でゆつくり風呂につかって一日の疲れをとる楽しみ

がありました。全身を動かしてコースを滑走し、自分のペースでゆつくりと、自然の情景を眺めながら歩くスキーを楽しんでください。現在は、航空公園などで活動しておりますので、みなさんの参加をお待ちしております。二つ目の健康づくりとしてミニバレーに挑戦しております。ミニバレー愛好会に加入し、多くの仲間と週二回、二時間ほどスポーツセンターで交流を行い心地よい汗を流しております。生きるための元気をたくさんの方々からもらっております。これからも自分の体力の続くかぎり歩くスキーやミニバレーをして健康のために体を動かしていきたいと思えます。（成田）

## 情報委員の

### おすすめスポット

冬の便りも届き、ストーブが恋しくなる季節ですね。外仕事も終わり、ちよつと一息。これから長い冬が始まります。疲れた体を休ませたり、心をリフレッシュさせるためにも、図書館に足を運んでみませんか。話題の本や文学作品、歴史、自然、趣味の本など…。蔵書数も約84,000冊と、とても充実しています。なかでも、私のお勧めは絵本です。子どもの頃に読んだ本でも、今、読み返すと新たな発見があり、新鮮に感じます。約9,800冊もあるのでお好みの一冊を探して下さい。調べ物やお勧めの本なども職員の方に尋ねれば優しく教えてくれます。冬こそ読書の季節です。電子辞書や電子書籍が普及し、簡単に手に入る時代ですが、図書館には独特の空間があります。久しぶりに図書館に足を運んで、好きな本を手に取り、ページをめくる、そんな贅沢な時を過ごしてみして下さい。（斉藤）

